

農場通信 2025年 12月号

2025/11/26

トヨタネ研究農場の「今」をお知らせ！ 圃場の写真と、環境データ・管理方法も合わせてご覧ください！

① 圃場 ハウス ② 試験内容 ③ 開始日 ④ 終了予定 ① 第4 A ② 大玉トマト短期品種比較試験(2作) ③ 2025/7/28 ④ 2026/1月中旬

品目		
栽培中 栽培準備中 今月最終	圃場写真①	圃場写真②
直近の環境データ・管理方法(晴天日) ※特に表記のないものは 設定と実測の温度を示しています		大玉トマトの品種比較栽培を行っているハウスです。7月4日に播種、7月28日に定植を行いました。 11月10日に摘芯を行い、1月中旬まで収穫予定です。最高温度は25度程度最低温度は12度程度設定しており、果実へ栄養を転流させるため、昼夜温度差を大きくしています。病虫害被害としては特に発生してはいませんが、状況に応じて薬剤散布及び葉面散布を行っていきます。

① 第4 B ② ミニトマト品種比較試験 ③ 2025/7/28 ④ 2026/6月末 ① 第4 C ② 大玉トマト品種比較試験 ③ 2025/8/18 ④ 2026/6月

ミニトマト		
【11/24 環境状況】 温度 冷却設定値 暖房設定値 飽差	7月4日に播種、7/28定植。 今作も20品種の比較試験を行います。 高温、短節間、食味、玉肥大の4テーマで栽培。 給液EC2.3、給液量1800ml/株で管理。 9段目を収穫中。現在15段目が開花しています。 一時期収穫量と玉サイズが落ちましたが、徐々に戻ってきています。タバコカスミカメがたくさんいたので、消毒で減らしました。週1回消毒を行いコナジラミ対策をしています。昼夜温差をつけ植物の草勢を強くできています。	【11/24 環境状況】 温度 冷却設定値 暖房設定値 飽差
	7月28日播種、8月19日定植。 今年度も20品種の栽培を行っています。 「耐裂果性」・「短節間」・「バランス型」・「玉肥大」の4テーマで栽培中。 8〜9段目が開花中。着果負担などで草勢が落ちていたため、葉面散布剤とCO2施用により草勢回復中。CO2は換気窓が閉まる時期となりましたので、日中600ppmにて施用していました。	

① 第4 D ② バラエティ品種比較試験 ③ 2025/8/19 ④ 2026/4月末 ① 第4 E ② イチゴ栽培試験 ③ 2025/9/26 ④ 2026/5月末

バラエティ トマト		
	7月28日に播種 8月19日に定植を行いました。今作も品種比較試験を行っています。 初段の収穫は終わり、収量は増加傾向にあります。11月中旬に着色不良のため、草勢は落ち込みぎみでしたが、葉面散布を中心に行い、現在ではバランスのとれた状態です。夜温は12度を下回らないように管理をしています。日中は昼にかけて徐々に温度を上げ、昼夜温度差は10度以上をキープしています。病虫害はまだ見受けられませんが、殺菌剤を中心に薬剤散布をしていきます。	9/26、10/1に定植。品種比較、クラウン温度制御、重量灌水制御の試験を実施中。 EC0.7、給液250mlで管理。 全体的に開花が始まっているので、ハチやハナアブで受粉しています。 マルチの展張を行いました。ネットもつける予定です。気温が10℃を切るようになってきたので、温度管理に注意しながら、管理作業を行っていきます。

① 第4 J ② ココバッグ養液栽培試験品種比較試験 ③ 2025/10/14 ④ 2026/4月中旬 ① 第4 I ② 高糖度ミニトマト品種比較試験 ③ 2025/8/15 ④ 2026/7月頃

キュウリ		
【11/23 環境状況】 気温 飽差	ココバッグを使った養液栽培での品種比較試験を行っています。今作は10/14日に定植。穂木品種8種、台木品種4種で栽培中です。 10月の曇天でやや生育が遅れましたが、収穫は11/15頃から始まっています。11月は天候も良く、生育順調。毎年ホコリダニの加害がみられるのでダニ剤は定期的に散布しています。収穫が始まったら、夜温を少し下げ昼夜温差を大きくして生殖生長に傾けます。またCO2は「真呼吸」を使って、日中で1000ppm程度で管理していきます。 昨年は初期の着果負担で一時草勢が落ちたので、今作はECをやや高めめの2.5程度で管理しています。	【11/23 環境状況】 気温 飽差
高糖度 ミニトマト		
	穂木品種6種類・台木品種6種類で高糖度栽培での品種比較試験を行います。 定植は8/15、128穴プラグ苗で定植しました。 11月末時点で、給液ECは4.5、排水ECは20.0を超えました。給液管理は日射比例で、0.5MJで株50ccと少量多頻度の設定にしています。これで排水率は晴天日で5%前後になっています。 糖度は品種差が出ていて6度後半〜8度程度。草勢も品種により、高ECストレス環境でも強勢のもの、細くなってきたものがあります。	



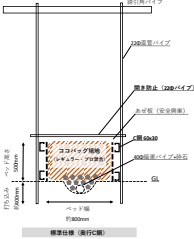
豊かさ実る、タネを。
トヨタネ株式会社

研究農場 TEL (0532) 41-2007
愛知県豊橋市東高田町371 FAX(0532)41-2015
URL <https://www.toyotane.co.jp/>
E-mail info@toyotane.co.jp

① 第6 ② キャベツ品種比較試験 ③ 2025/8月～ ④ 2026/春

キャベツ		
冬系キャベツ 5作型 ①7/18播種 10月収穫 ②7/28播種 11月収穫 ③8/8播種 12-1月収穫 ④8/20播種 2-3月収穫 ⑤8/25播種 3-4月収穫 春系キャベツ 2作型 ①8/22播種 年明け収穫 ②8/27播種 年明け収穫		年内収穫の作型は概ね仕上がりが調査も行いました。あとは在圃性を確認していきますが、今年は株が旺盛に出来ているせいか、裂球が早くから出ています。 年明け以降の作型は生育順調。気温が昨年よりも早く下がったため、害虫の心配はほぼ無くなりましたが、黒腐れ病や菌核病の予防消毒はもう少し実施していきます。

① 第3 M ② アスパラガス柵板式高畝栽培試験 ③ 2023/6/2定植④ 周年

アスパラガス		
		アスパラの「柵板式高畝栽培」の実証試験。 2023年初夏に定植、2024年春から収穫開始。 柵板で隔離したベッドにココバッグの中身を入れて養液栽培をします。品種も新しいタイプ3種類を含む、計6種類栽培しています。 10月いっぱい収穫は終了しました。前作よりも大幅に収量が伸びていて、反換算で約3.5トンになる品種もありました。この後は地上部がしっかり黄化してから刈込を行います。

① 第8 ② 『持続可能な施設園芸』実証試験 ③ 2025/8/22 ④ 2026/7月末

大玉トマト		
		7月21日に播種、8月22日に定植を行いました。 穂木はかれんを使用し、台木はアーノルドやカイゼル等、強勢品種を5種類栽培しています。 11月から収穫を開始いたしました。1房3果で摘果を行い栽培をしています。灌水については朝は定刻で行い、日中は日射比例で灌水を行っています。EC2.5をキープして行い、微量元素については葉面散布を中心に行っています。計画的な薬剤散布を行いつつ、LEDライトを使用して害虫防除を行っていきます。

① 第2 ② ブロッコリー ③ 2025/08～ ④ 2026/春

ブロッコリー		
1作目 8月11日播種 9月3日定植 2作目 8月16日播種 9月10日定植 3作目 8月20日播種 9月16日定植 4作目 8月25日播種 9月20日定植 5作目 9月29日播種 9月25日定植 6作目 9月10日播種 10月5日定植 7作目 9月19日播種 10月15日定植		1～2作目の収穫を行っています。 現在5作目が出書してきました。 今のところ、大きな病害虫の影響なく生育しています。今後、黒すす対策の防除を行う予定です。

① 施設栽培 ② バコトツプ放飼防除試験

バコトツプ		
今作も、昨年度に引き続き、タバコカスカメ(商品名:バコトツプ)の放飼を行っております。 トマトハウスでは、バコトツプにより、コナジラミが少ない状態で維持できています。 一部ハウスで、バコトツプが増えすぎているため、バコトツプに影響のある薬剤を散布し、個体数を減少させました。 キュウリについては、大きな問題もなく生育中です。		

① 第7 ② 産直野菜 ③ 2025/10～ ④ 2026/初春

産直野菜		
		今年度も産直品目を栽培します。 葉菜類、根菜類を栽培します。 年明けごろより見ごろを迎えます。



豊かさ実る、タネを。
トヨタネ株式会社

研究農場 TEL (0532) 41-2007
愛知県豊橋市東高田町371 FAX(0532)41-2015
URL <https://www.toyotane.co.jp/>
E-mail info@toyotane.co.jp